

ハーブでバッグ作り

ハーブを使ったバッグ作りの講座が7月21日、福島町の蛙鼻公園で行われました。

昨年度から国の委託を受け、地域の活性化と雇用の創出をすすめている「平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト」の一環で行われたもので、地元の魅力を認識してもらい、地域の観光資源開発につなげようと企画されたものです。

この日参加した市民22人は、東京都のハーブ研究家・古澤正美^{まさみ}さんの指導のもと、絵の具をつけたハーブをバッグに当てて、さまざまなハーブ模様のバッグを作りました。

講座修了後は、用意されたハーブ入りのケーキとハーブティーを参加者全員でおいしく味わいました。



まちの話題



鷹島土地改良区が清掃活動

鷹島土地改良区（宮本正則理事長、組合員266人）が8月5日、鷹島ダム周回道路沿いの除草作業を行いました。

鷹島ダムは、平成6年にかんがい用水ダムとして完成。全国の「ダム湖百選」にも選ばれていて、同土地改良区が、農業用水に感謝し、景観保全に取り組もうと毎年行っています。

この日は、約30人の組合員が草払い機を使い、4時間かけて道路沿いの雑草や竹を伐採しました。作業に参加した瀬川^{とみお}富夫さん（鷹島・石川、68）は「水は農業の命です。干害時にはダムに頼るしかないので、感謝の気持ちで参加しました」と話していました。

地区対抗球技大会で親ぼく

青少年健全育成会地区対抗球技大会（鷹島地区青少年健全育成会主催）が8月5日、鷹島スポーツ・文化交流センターと鷹島総合運動公園グラウンドで開催されました。

焦げ付くような暑さの中、ドッチボール8チーム、ミニバレーボール7チームで熱戦が繰り広げられました。結果は以下の通りです。

<ドッチボールの部>

①三里 ②神崎 ③中通B

<ミニバレーボールの部>

①石川・原 ②殿ノ浦 ③阿翁浦A



力を合わせ和船競漕

第4回星鹿町みなと祭り・和船競漕大会が7月29日、星鹿港で開催されました。

地域の青少年に、海を愛し親しむ心を持ってもらおうと星鹿町青少年健全育成会(吉長勇会長)が2年に一度開催しています。

和船競漕は地区別、チーム対抗などの各部門に36チームが出場。地区対抗の三世代の部では、小学生からお年寄りまで5～8人が長さ8疋、幅2疋の和船に乗り込み、3隻が往復300疋の特設コースで順位を競いました。まっすぐ進まず沖に向かう船もあり、観客から笑いと歓声が上がっていました。



古来の音色を満喫

第5回琴・尺八・ピアノによる七夕ミニコンサートと体験教室が7月29日、きらきら21で開催されました。

琴・三絃演奏グループ、箏曲松実会(古賀曜子代表)が、琴の音色を通じ、日本古来の楽器に親しむを持ってもらおうと、毎年開いています。

コンサートは2部構成。第1部は「明日があるさ」「上を向いて歩こう」「千の風になって」などを演奏。また、古賀代表が御厨小・中学校で和楽器の指導をしている縁で、今回は御厨小学校の教師がピアノで演奏に参加しました。

第2部は琴の演奏体験教室。出演者が来場者に「さくら」の演奏を、13ある弦を音階のかわりとなる数字で示し、手ほどきしていました。

演奏を体験した長嶋桃子さん(御厨・中野、12)は「少し難しかったけど楽しかったです。またやってみたいです」と話していました。

小学生が楽しく英語を学ぶ

— 第9回「1日インターナショナル・スクール」 —

市内の小学生を対象とした「1日インターナショナル・スクール」が8月21日、きらきら21で開催されました。松浦市国際親善協会が、小学生に外国の言葉と文化に触れる機会を与えることを目的に、毎年開催しています。

この日は、市内の小学生約50人が参加。市内に赴任しているALTなど6人が講師を務めました。

スクールでは、講師についてのイエス・ノークイズや自己紹介ゲーム、英語で答えるジェスチャーゲームなどを行い、参加した児童たちは楽しく英語を学びました。

